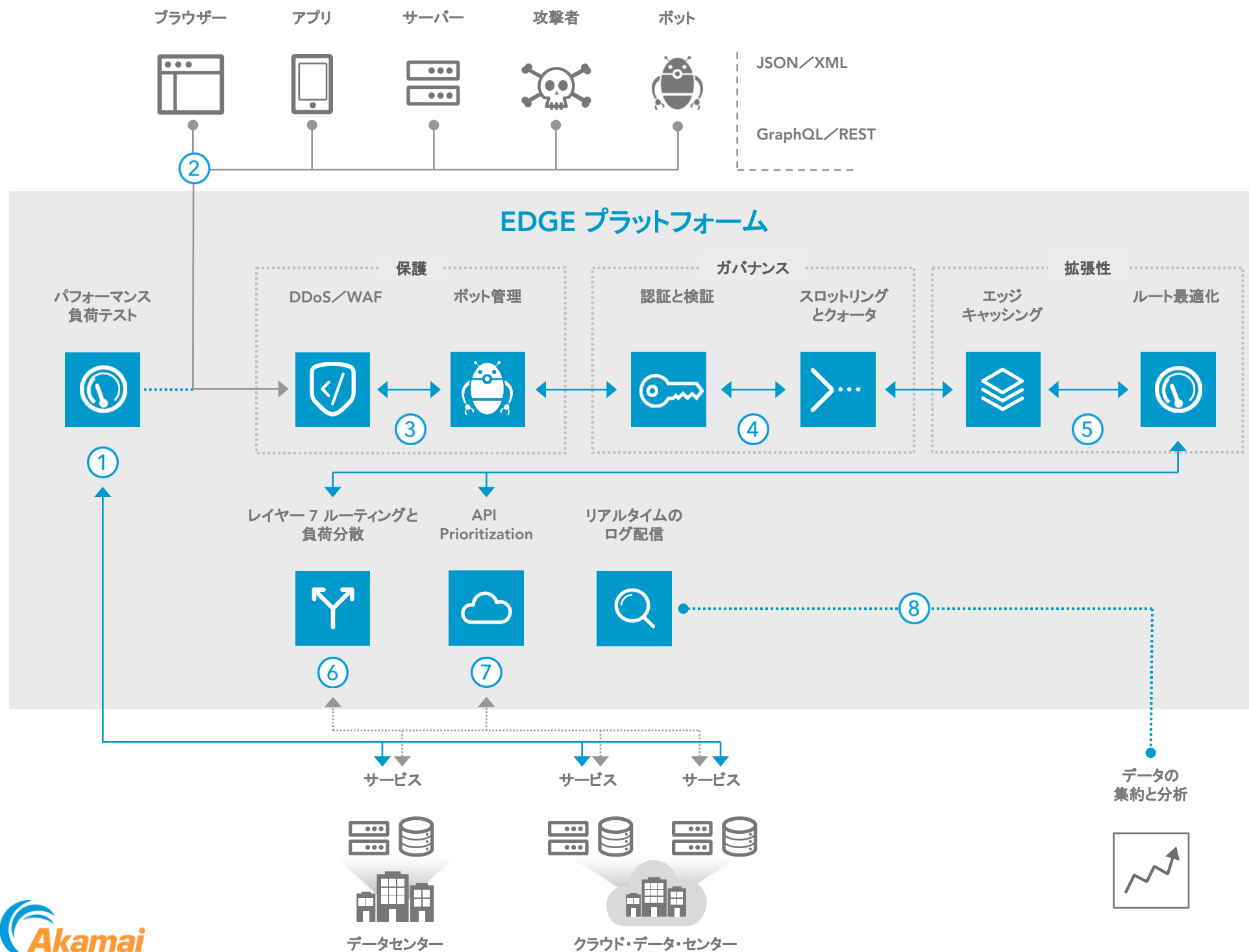


ピーク時の API 消費に応じた拡張

リファレンスアーキテクチャ



概要

低パフォーマンスの API はダウンタイムを招き、収益やブランド価値の損失につながります。Akamai は、負荷下で API パフォーマンスをテストし、保護、ガバナンス、拡張性の機能を提供することで、ピーク需要時にも高い可用性を達成できるよう、お客様をサポートします。

- ① パフォーマンス負荷テストでは、クラウドプラットフォームからのトラフィックを生成し、ピークイベントへの備えに役立つ実用的な知見を提供します。
- ② エンド・コンシューマー・デバイスが Akamai Intelligent Edge Platform を通じて API にアクセスします。
- ③ エッジサーバーがネットワークレイヤーに対する DDoS 攻撃を自動的に破棄し、DDoS やアプリケーション攻撃からアプリケーションレイヤーを守ります。ボット管理によりボットトラフィックを識別して管理し、さまざまな高度な条件付きアクションにより制御します。
- ④ API ゲートウェイが、API コンシューマーからのリクエストの認証、許可、制御を行い、API トラフィックを管理します。このようなアクセスと消費の管理は、データ交換における可用性と公平性を維持するために役立ちます。
- ⑤ プロトコルとルートの最適化によって API が高速化されます。また、キャッシュからのレスポンスによってパフォーマンスが向上し、インフラストラクチャと帯域幅のコストが軽減します。
- ⑥ アプリケーションレイヤーの負荷分散により、フェイルオーバーが迅速化し、アプリケーションレイヤーの認識に基づいた負荷分散の決定が可能になります。これにより、多様なクラウドアーキテクチャで高可用性サービスを提供できます。
- ⑦ API Prioritization Cloudlet を使用することで、API またはサービスが過負荷になる可能性のあるイベント時には、Edge から代替のファールレスポンスを提供できます。
- ⑧ DataStream が CDN の健全性、レイテンシー、オフロード、エラー、イベントに関する集約指標を通じてミドルマイルの可視性を提供します。これらのデータは Push と Pull の API を利用して、ご使用のデータ集約および分析ツールに提供されます。

キープロダクト

- パフォーマンス負荷テスト ▶ CloudTest
- 保護 ▶ Kona Site Defender、Web Application Protector、または Bot Manager
- ガバナンス ▶ API Gateway
- 拡張性 ▶ Ion または Dynamic Site Accelerator
- 負荷分散 ▶ Application Load Balancer
- API の優先順位付け ▶ API Prioritization Cloudlet
- リアルタイムログ配信 ▶ DataStream